

What's New From ASCIKU

関西大学科学技術振興会 No.1 2 October 2008

第 4 回研究会を開催 10月18日(土)

平成20年度の活動テーマを「皆様方とともに祝い、これからを考える工学部創立 50 周年—温故知新、新たな社会連携モデルの創造—」に設定し、活動テーマをもとにした今年度の研究会。かつて工学部で教鞭を取られ、幾多の有為な人材を育成され、工学部発展の礎を築いて来られました先生方から往年の名講義を復活して戴き、また工学部校友の経営者が自らの体験を通しての講演を計4回計画している研究会の、第3弾です。

寺内俊太郎会長の開会挨拶、内山寛信機構長からの挨拶のあと、企業からの講演に移りました。今年度から始めた大学院生への呼びかけによる出席や、タイ・ミャンマーからの留学生、研究室所属のリサーチ・アシスタントの方々を含め、51名の出席でした。

1. 「校友が語る技術開発」

(1) 大阪熱処理 株式会社

帯鋼本部副本部長 桂 成司 氏 (昭42 学工金)

大阪熱処理(株)は、クラッチや自動変速機などの自動車部品や冷蔵庫やエアコンなどの電気機器など幅広い分野に用いられる帯状鋼材、帯状みがき特殊鋼などを製造販売している会社で、ぜんまいや精密部品など他では造れない優れた技術力を持った会社であることを紹介されました。



桂 成司氏

(2) 日章アステック 株式会社 代表取締役会長 杉田 章 氏 (昭34 学2 商) 生産管理部長 小田切 理 氏



杉田 章氏



小田切 理氏



3,290の部品をTIG溶接で組み立てたあとと電解研磨を施すなど、表面技術を集大成した五重塔

日章アステックはステンレスの加工・販売のスペシャリストです。豊富な経験からステンレス鋼材の電解研磨により、表面から SUS の Fe 分が失われ表面に Cr 成分の割合が大きくなる結果、耐食性が増すことや電解研磨で表面が滑らかになり、メッキの付きが良くなることなどを示されました。

また、電解研磨表面に滑らかに金メッキされた壮麗な興福寺五重塔の模型(縮尺約 1/60)を展示されました。

2. 「新技術・新製品紹介」 会員外企業からの新コーナー
「弛み止めナットの開発」 ハゼ
有限会社 ワールドロック 部長 土師 嘉郎 氏
(特別講師)

(有)ワールドロックは、従業員5名の小さな会社ですが、くさびナットと称する弛み止め機構を持つ優れたナットを製造販売する会社です。現在、弛み止めナットは世界中でピンからキリまで100種類くらいあります。その中でも格段に優れた性能を持つ、開発された弛み止めナットの紹介がありました。このナットが世界を席卷する可能性を感じました。



土師 嘉郎氏

3. 「復活、迷？講義」

「食品廃棄物に含まれる数少ない天然アミノ多糖（キチン）の機能」 戸倉 清一先生（応用化学）
機構研究員、社会連携部特別顧問、当会顧問

社会連携部特別顧問でもある戸倉先生は、よく知られているように日本は勿論世界における“キチン・キトサン”研究の第一人者です。50年ほど前北海道大学で研究者として出発されたときから、1966年から68年にかけてのアメリカ留学で血液凝固機構の研究に参画され、甲殻類の血液凝固と人間のそれとの違いを研究されて研究用に買ったロブスターを食べたことから、甲殻類の殻との長い付き合いが始まったことなどユーモアを交えながら話された。

また、現在でも“キチン・キトサン”の優れた性質を生かした医療・化粧品分野、産業分野への適用研究を積極的に進められていて、後輩たちへ良き刺激を与えられています。



戸倉 清一先生

設立当初の工学部一覽

第4回研究会会場において、「管理工学科は認可されましたので、昭和35年度より学生募集を致します」のゴム印を押した「關西大學工学部一覽」を展示しました。「学長；経済学博士・矢口孝次郎、工学部長；理学博士・田中晋輔」の元、各学科の教授陣が担当教科と共に掲載されています。

昭和33年度に機械工学科・電気工学科・化学工学科・金属工学科の4工学科で設置された工学部は、昭和35年度より新たに管理工学科を増設すべく目下認可申請中である、と印刷された一覽は、新聞の見開きサイズ、校友が大切に保存されていた資料をお借りした原寸大のコピーで、工学部創立50周年の記念の年に所在が判明したものです。研究会参加者は、当初の学び舎の天六学舎や実験風景の写真、教授陣のお名前など熱心に眺められていました。

次回の研究会以降も、同様に展示します。

ご案内 特別会員が図書を出版

特別会員の北嶋 弘—システム理工学部教授
(生産加工)が監編集された、「バリテクノロジー実務編」が刊行されました。2002年6月出版の「バリテクノロジー入門」が好評で、今般、さらに読者から具体的にバリ取り・エッジ仕上げ作業の合理化に取り組むに当たっての実務編の要望があり、刊行されたものです。

発行所；桜企画出版 定価（本体2,500円、税込み）

1章 精度設計論 3章 バリ取り・エッジ仕上げ法の実際
2章 バリ取り・エッジ仕上げ技術の基礎 付録 「バリ・エッジ品質」用語と解説



振興会のホームページ <http://www.kansai-u.ac.jp/ordist/sinkokai/index.html>
関西大学 HP；社会貢献＊先端科学技術推進機構からご覧ください。

ASCIKU 関西大学科学技術振興会

Associative Society for the Collaboration between Industries and Kansai University